

久屋大通公園久屋大通庭園（現 ランの館）

活用提案事業者 募集

庭園管理 業務仕様書

平成25年5月

名古屋市 緑政土木局

## <目次>

1	基本的事項	1
2	管理業務の対象となる施設及び範囲	1
3	業務の内容	1
	(1) 来園者の安全に関すること	1
	(2) 施設の維持管理等	1
	(3) 庭園の整備補修に関すること	3
	維持管理水準表	4
	年間維持管理計画表	5

## 1 基本的事項

### 維持管理の基本方針

公園は市民のレクリエーション活動や散策などの憩いの場として親しまれています。

一方で、公園は、常時利用可能な施設であることに加えて、住宅と近接していることが多いことから、公園管理者は、利用者や近隣住民の意見を大切にしながら、公園の特性に合わせた維持管理を行う必要があります。

庭園の維持管理にあたっては、施設を清潔に保ち、かつ機能を正常に保持し、公園利用者が適切かつ安全に利用できるよう、適正な管理と保守点検を行うことを基本方針とします。

また、業務の質とサービスの向上を図ることを目的に、施設利用者などから施設運営に関する意見を聴取する等、定期的な自己評価を実施し、これにより得られた評価を業務に反映することで、公園の魅力を高め、公園利用者のサービス向上につながることを期待します。

## 2 管理業務の対象となる施設及び範囲

大庭園、アジアの庭 約 8,100 m<sup>2</sup> (別添「管理区域図」参照)

## 3 業務の内容

### (1) 来園者の安全に関すること

来園者が安全で快適に過ごせるよう、良好な施設管理を実施するとともに、施設隣接地(歩道・公園など)の安全についても十分配慮すること。来園者に対しては、親切丁寧に対応すること。作業員の服装については、来園者に不快感を与えないものとする。

#### ア 来園者の安全管理

- (ア) 通路となる場所には通行の支障となるような障害物が無いように注意すること。
- (イ) 植物管理など作業を行う場合は、来園者に不具合が無いように十分留意するとともに、作業員の服装も不快感を与えないよう配慮すること。
- (ウ) 混雑時には来園者の制限を行うなど、来園者の安全を確保すること。
- (エ) 適切な監視、誘導を実施し、来園者の安全を確保すること。

#### イ 傷病者の救護処理及び報告

傷病者の発生に備え、関係連絡先を把握するとともに、万一に備え日頃から訓練等を行うこと。

- (ア) 傷病者が発生した場合は直ちに状況の把握に当たり、速やかに応急処置を行うこと。所管消防署への通報等適切な処置をとり、本市担当課に報告すること。

### (2) 施設の維持管理等

施設の維持管理においては、基本方針をよく理解し、景観の維持に努めること。

また、植物、施設等の維持管理業務に関しては別添「維持管理水準表」及び「年間維持管理計画表」を標準とし、「名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書」及び「名古屋市の施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用にかかる基本指針」を遵守すること。

## ア 基本管理

### (ア) 巡視

施設内巡視を行い、施設の安全面、衛生面、機能面が確保されるように努めるとともに、不具合等が発見された場合は、必要な措置を施すとともに、記録し、適宜報告すること。

### (イ) 清掃

- a 庭園・水面等のゴミを除去し、来園者が快適に過ごせるように、常に清潔な状態を保つこと。
- b 清掃により発生したゴミの処理方法等については、事前に処分方法・処分先を本市担当課に届け出るとともに、その承認を得ること。

### (ウ) 除草

- a 薬剤除草は行わないこと
- b 植物性廃棄物はできる限りリサイクルに努め、不法投棄や野焼きはしないこと。

### (エ) 定期点検等

来園者の安全・快適な環境づくりのため、日常及び定期的な点検を実施するとともに補修を要するようであれば、速やかに処置を行うこと。

## イ 植物管理

庭園の魅力の中心要素は植物展示である。業務にあたっては、職務に必要な十分な知識を持ち、来園者等に満足感を与えるような展示・植物管理を行うこと。

剪定枝・刈込枝葉は、リサイクル対象物とする。リサイクル対象物の処理について、特に「仕様書」・「維持管理水準表」に定めがない場合は処分とするが、資源の有効利用とごみ減量の観点から、できる限りリサイクルに努めること。

### (ア) 植物の一般維持管理

- a 主な植物には銘板をつけるものとし、植物名・品種名などの植物情報を記載すること。
- b 散水は、来園者に十分配慮すること。
- c 散水、施肥、除草、花柄とり、植替えなどは適宜行い良好な状態を維持すること。

### (イ) 清掃

落葉のほか、植樹帯内のゴミの清掃は適宜行い、良好な状態を維持すること。

### (ウ) 病虫害防除

「農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用マニュアル（屋外 農薬編）（屋内 殺虫剤等編）」を遵守すること。別紙「植物病虫害防除特記仕様書」参照

## ウ 水景施設管理

庭園内には、大庭園の池、流れ、滝、噴水など各種水景施設がある。これらの安全・衛生に配慮した維持管理を行うこと。

(ア) 保守、管理、点検業務

- a 年間の維持管理計画を立て、良好な保守管理を行うこと。
- b 分電盤・操作盤・ポンプ・ろ過装置等設備全般については、専門業者による定期点検を行い、計画的に保守管理を行うこと。
- c 施設・設備等に不具合が生じた場合は、速やかに修繕を行い機能回復に努めること。

(イ) 衛生管理業務

水質の悪化など、衛生面での不具合がないか、常に配慮すること。

(ウ) 安全の確保

- a 来園者の安全に十分注意した管理を行うこと。
- b 事故など発生の際には適切な対処ができるよう、あらかじめ緊急連絡体制等を整えるとともに、日頃から訓練を行うこと。
- c 設備の異常にともない、来園者の安全に支障がきたすおそれがある場合は、その旨を提示するとともに、安全確保につとめること。

**(3) 庭園の整備補修に関すること**

- ア 小規模な修繕に関しては管理者の裁量で行うものとし、原形の形状の変更が生じるような修繕及び多額の費用を要する修繕に関しては、名古屋市と協議のうえ行うこと。
- イ 施設の魅力向上のために、改修を行う場合は名古屋市と協議のうえ行うこと。
- ウ 各施設に応じた年間管理計画を立て、それに従った点検・管理業務を行うこと。

維持管理水準表

区分・業務内容		管 理 水 準		備 考
		規模・単位	年 回 数	
樹木管理				
	高木剪定	50本	随時	年1回程度(250本を5年で1回)
	低木刈込	200㎡	随時	年1回程度
	生垣刈込	130m	随時	年2回程度
除草管理				
	抜取除草(芝生地)	830㎡	3回	
	抜取除草(植栽地)	3,290㎡	随時	年3回程度
芝生管理				
	公園芝刈(肩掛)	830㎡	9回	
	芝施肥	830㎡	2回	
	目土掛け	830㎡	2回	
清掃管理				
	ゴミ拾い	1式	通年	池・流れを除く
	落葉掃き掃除	1式	通年	芝生地及び園路
花壇管理				
	草花植付	1式	5回	
	草花灌水	1式	随時	
	草花植付施肥	1式	5回	
	草花追肥	1式	随時	
	草花抜取	1式	5回	
	花がら取り	1式	通年	
水景施設管理				
	噴水・流れ 保守管理	1式	12回	
	噴水・流れ 薬剤補充	1式	随時	
	噴水・流れ 清掃	1式	随時	年2回程度
	池 清掃	1式	随時	年2回程度
その他管理				
	小温室 展示植物入替	1式	随時	年4回程度
	小温室 空調管理保守点検	1式	随時	年4回程度
	病虫害防除	1式	随時	
	施設補修・植物補植など	1式	随時	

年間維持管理計画表

区分・業務内容	管理水準		作業時期											
	規模単位	年回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
樹木管理														
高木剪定	50本	随時												
低木刈込	200㎡	随時												
生垣刈込	130m	随時												
除草管理														
抜取除草(芝生地)	830㎡	3回	1		1				1					
抜取除草(植栽地)	3,290㎡	随時												
芝生管理														
公園芝刈(肩掛)	830㎡	9回	1	1	1	2	1	1	1					1
芝施肥	830㎡	2回	1			1								
目土掛け	830㎡	2回		1					1					
清掃管理														
ゴミ拾い	1式	通年	—————											
落葉掃き掃除	1式	通年	—————											
花壇管理														
草花植付	1式	5回	—	—				—	—	—	—		—	
草花灌水	1式	随時												
草花植付施肥	1式	5回	—	—				—	—	—	—		—	
草花追肥	1式	随時												
草花抜取	1式	5回	—	—				—	—	—	—		—	
花がら取り	1式	通年	—————											
水景施設管理														
噴水・流れ 保守管理	1式	12回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
噴水・流れ 薬剤補充	1式	随時												
噴水・流れ 清掃	1式	随時												
池 清掃	1式	随時												
その他管理														
小温室 展示植物入替	1式	随時												
小温室 空調管理保守点検	1式	随時												
病害虫防除	1式	随時												
施設補修・植物補植など	1式	随時												

## 植物病虫害防除特記仕様書

本仕様書は、公園・緑地及び街路樹等管理で植物の病虫害防除を実施する場合に適用し、「名古屋市施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用に係る基本指針」「農薬・殺虫剤等の適正使用マニュアル（屋外 農薬編）」及び「土木工事標準仕様書」に定めるほか、下記によるものとする。

### 1 病虫害の調査及び防除について

- (1) 監督員が病虫害の発生状況調査を指示したときは、植物の状態をよく観察し病虫害の早期発見に努めること。
- (2) 調査で被害の発生が確認された場合は、速やかに害虫の捕殺もしくは被害部の切除などを行い、被害の拡大防止に努めること。
- (3) 作業完了後は、被害発生の位置・被害が発生した本数（または区域）・植物名・発生病虫害名を監督員に報告すること。

### 2 薬剤について

- (1) 事前に監督員の承諾を得て使用すること。
- (2) 使用する薬剤の選定にあたっては、適用植物種や適用病虫害及び希釈倍率等の薬剤の使用基準を確認すること。また、より安全性に配慮した薬剤を優先して選定すること。
- (3) 薬剤による病虫害防除を実施したときは、別添の「薬剤使用実績報告書」を監督員に提出すること。

### 3 薬剤散布（打込み施工も含む）について

- (1) 散布を行う場合、必要最低限の散布量とすること。また、風向きや風の強さに注意するとともに、飛散を抑制するノズルの使用や噴霧圧の調整、飛散防止ネットの活用等により、薬剤の飛散防止に努めること。散布後、残った薬剤については適切な処理をすること。
- (2) 散布前には、監督員が指示する方法により、周辺住民・通行者・利用者等に対して周知すること。周知については、現場状況、緊急度を考慮して、口頭・PR紙配布・PR看板設置などの方法で実施すること。特に、農地や小学校等の付近で散布を行う場合は一層配慮すること。
- (3) 散布中及び散布後には、必ず現場に①散布の目的②散布日時③薬剤の種類④施行者⑤発注者等を明記した看板を設置すること。
- (4) 薬剤のラベルに記載されている注意事項又は「公園・街路樹等病虫害・雑草管理マニュアル」（環境省 水・大気環境局）に定めがあるときや、危害防止のために必要なときは、監督員の指示に従って立入制限処置をとること。

### 4 その他疑義が生じた場合は、その都度、監督員と協議の上、その指示に従うこと。



## ○散布前の「PR看板」記載例

## ○散布中・散布後の「PR看板」記載例

薬剤散布予定のお知らせ	
散布の目的	〇〇〇に発生した 病害虫(〇〇〇〇) 駆除のため
散布日時	平成〇〇年〇月〇日 午前〇時～〇時
<b>次の場合、散布を延期・中止します。</b> ・雨がふっている又は雨の予報が高確率である ・強い風が吹いている <b>延期後の散布予定は、平成〇〇年〇月〇日午前〇時～〇時</b>	
薬剤の種類 希釈倍率・散布予定量	〇〇乳剤(〇〇〇系殺虫剤) 〇〇倍希釈液 約〇〇〇リットル
<b>注意事項</b> <b>当日は散布場所付近に近づかないでください。</b> <b>めまい、吐き気、頭痛などの症状がでる可能性があります。</b>	
施行者	〇〇造園 担当者：〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇
発注者	〇〇土木事務所 〇〇係 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

薬剤を散布しました	
散布の目的	〇〇〇に発生した 病害虫(〇〇〇〇) 駆除のため
散布日時	平成〇〇年〇月〇日 午前〇時～〇時
薬剤の種類 希釈倍率・散布量	〇〇乳剤(〇〇〇系殺虫剤) 〇〇倍希釈液 約〇〇〇リットル
<b>注意事項</b> <b>散布場所付近には近づかないでください。</b> <b>めまい、吐き気、頭痛などの症状がでる可能性があります。</b>	
施行者	〇〇造園 担当者：〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇
発注者	〇〇土木事務所 〇〇係 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

## ○「PR用紙」記載例

平成〇〇年〇月〇日

## 薬剤散布のお知らせ

〇〇〇に発生した病害虫（〇〇〇）駆除のため、  
平成〇〇年〇月〇日午前〇時～〇時頃に  
〇〇乳剤（〇〇〇系殺虫剤）  
〇〇倍希釈液 約〇〇〇リットルを散布します。

次の場合、散布を延期します。

- ・雨がふっている又は雨の予報が高確率である
- ・強い風が吹いている

延期後の散布予定は、平成〇〇年〇月〇日午前〇時～〇時

施行については、十分注意して実施しますのでよろしく申し上げます。

**散布中及び散布後（散布当日）は施行区域付近に  
近づかないようにして下さい。**

人によっては、めまい・吐き気・頭痛などの  
症状がでる可能性があります。

散布前後は、窓を閉め、洗濯物などを干さないようにお願いします。

ご不明な点があれば、下記までご連絡下さい。

施行者：〇〇造園 担当者：〇〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

発注者：〇〇土木事務所 〇〇係

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

# 薬剤使用実績報告書

平成 年 月 日

委託業務名:

履行期間:

業務場所:

受託人:

単位は任意  
本・m・m<sup>2</sup>など

原液の使用量

実際の散布量

No.	業務指示日	使用月日	使用時間	使用場所	商品名	対象植物名	対象数量	病害虫名	薬剤使用量	希釈倍率 (倍)	散布量 (L)	備考
例1	○月○日	○月○日	AM○時～○時	○○通○○町地 内	トレボン乳剤	アメリカアワ	8 本	アメリカシロヒトリ	0.02 L	2000	40	
例2	○月○日	○月○日	AM○時～○時	○○公園	ハシレックス水和剤	サザンカ	2 m	チャドクガ	0.02 kg	1000	20	
例2					グラミン				0.002 L	10000		展着剤
1												
2												
3												混用時・展着剤は 備考欄に明記する
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

混用時・展着剤は商品名・  
薬剤使用量・希釈倍率・備  
考のみ記載する(他は空欄)

混用時・展着剤は同じ番号

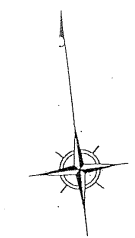
※カタカナは全角を使用すること

# ランの館管理区域図

凡例

記号	名称
	管理区域

庭園管理業務対象範囲



S=1:500

